

## 蒲生干潟の地形調査⑬

### ■安定の潟湖の地形

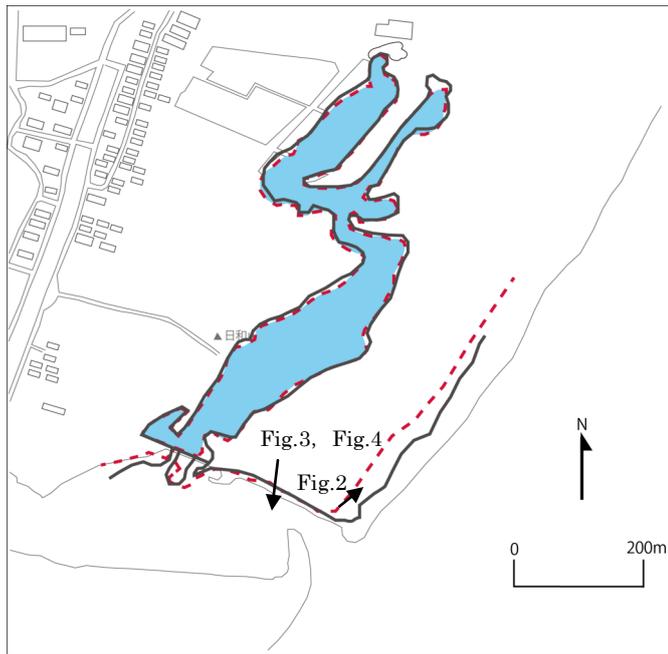


Fig.1 6月のGPS簡易測量結果



Fig.2 6月の海岸線（南側より撮影）

側に高低差が出来たままであり（No.113参照），潟湖から川へ水が流れ出していた。しかし海岸線は4月と比べて広がっており，Fig.2のように海岸線の傾斜は急になっていた。Fig.3は右岸のようすであり，先月と比較すると（No.113参照）右岸側砂州では川の流れによって西側が浸食されていることが確認された。Fig.4は河口付近の流水のようすである。右岸側を経由して流れてくる川の水と左岸側をまっすぐ流れてくる川の水が河口付近でぶつかり合う地点では流水は渦を巻いていた。



Fig.3 川の流れによって西側が浸食された右岸の砂州



Fig.4 複雑な流れとなっていた河口付近。

調査日 2016年6月10日（金）10：40～12：30

この日の干潮時刻は13:09であり干潮(潮位28m)に向かっている時間帯に調査を行った。Fig.1は汀線のGPSによる簡易測量の結果で，赤色の破線は4月，黒の実線が6月のものである。また図中の矢印は写真の撮影場所と撮影方向を示している。Fig.1からもわかるとおり潟湖内の地形は安定していた。導流堤通水部分付近も5月の調査と大きな変化はなく，潟湖と川